

## 【NEWS RELEASE】

2021年10月8日

SMBC日興証券株式会社

東京地下鉄株式会社のサステナビリティボンド引受けのお知らせ

SMBC日興証券株式会社は、この度、東京地下鉄株式会社(代表取締役社長:山村 明義、本社所在地:東京都台東区、以下「東京メトロ」)が発行するサステナビリティボンド<sup>※1</sup>(東京地下鉄株式会社第52回社債、以下「本サステナビリティボンド」)の引受けにおいて事務主幹事を務めましたのでお知らせいたします。

東京メトロは、東京都区部を主たる営業基盤とする鉄道会社であり、9路線195.0km 180駅の地下鉄を運営し、1日平均498万人(2020年度)の乗客が利用する首都圏の鉄道ネットワークの中核を担う企業です。2020年9月には、グループ理念「東京を走らせる力」を通じ、安心して持続可能な社会を実現するため、東京メトログループを取り巻くサステナビリティ重要課題(マテリアリティ)を特定するとともに、課題解決に向け自社の意志を込めたテーマ<sup>※2</sup>を定めました。本サステナビリティボンドの発行は、これらに関連する取り組みを、ステークホルダーにより一層認知してもらうとともに、調達資金を環境問題・社会課題双方の解決に資する施策に充当することで、ステークホルダーとともにSDGsの達成に貢献、ひいては「安心して、持続可能な社会」を実現していくことを目的としています。調達資金は、サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)に関連する施策のうち、「ホームドアの整備」、「大規模浸水対策」、「震災対策」、「有楽町線・副都心線17000系車両、半蔵門線18000系車両の導入」、及び「太陽光発電システムの設置」に係る費用の一部に充当される予定です。

当社は、金融・資本市場におけるビジネスを通じた環境・社会課題の解決のため、専門部署である「サステナブル・ファイナンス部」<sup>※3</sup>を設置し、ESGの推進に積極的に取り組んでおります。こ

の度の引受けにおいては、本サステナビリティボンドのフレームワーク策定のサポートから外部評価機関との調整及び引受販売に至るまで、事務主幹事としての役割を果たしてまいりました。さらに、当サステナビリティボンドの引受けを通じて、当社はSDGsの掲げる「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「産業と技術革新の基盤をつくろう」、「住み続けられるまちづくりを」、「つくる責任 つかう責任」及び「気候変動に具体的な対策を」の目標達成に貢献していきます。


 いっしょに、明日のこと。  
Share the Future

- ※1 調達資金の使途が、環境改善効果があること(グリーン性)及び、社会的課題解決に資するものであること(ソーシャル性)の双方を有し発行される債券。
- ※2 東京メログループは、サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)を特定し、社会課題の解決に向け5つのテーマ(①地下鉄を安全に、そしてつよく②一人ひとりの毎日を生き活きと③東京に多様な魅力と価値を④地球にやさしいメトロに⑤新たな時代を共に創る力を)を定めた。
- ※3 サステナブルファイナンスに関するカバレッジ支援業務の強化を目的とし、2021年9月の機構改革にてSDGsファイナンス室をサステナブル・ファイナンス部に改組。

**【今回当社が事務主幹事を務めた東京メトロサステナビリティボンドの概要】**

名称	東京地下鉄株式会社第52回社債(一般担保付)(サステナビリティボンド)
年限	10年
利率	0.205%
単価	100円
発行額	100億円
条件決定日	2021年10月8日(金)
払込日	2021年10月14日(木)
償還日	2031年10月14日(火)
取得格付	AA(R&I)、AAA(JCR)

以上